

教育の基礎

教育センターでは、新たに着任すると花壇というか小さな畑が使えます。

私も4年前に着任し、小さな花壇を頂きました。

このホームページでも何度か作物の話題を掲載しました。

今までに、ナスビ、枝豆、ピーマンをつくりました。

私は、「作物を収穫するとそれでおしまい」的な植物より、「実が何度も収穫できる」的な植物が好きです。なお、獣や虫の害が少ない植物が大好きです。全くのワガママです。この条件に合うのが「ピーマン」です。今年もたくさん収穫があります。



さて、なぜこのような話題を出したか。

私が教員になった頃、何かで読んだか聞いた話題に、「人を育てる仕事をする場合、

1 植物を育てる 2 動物を育てる 3 特別に支援が必要な子供を育てることが大切である」があった。

この年になるまで、ずっと記憶に残っている言葉である。

言葉の意味は自分なりに理解しているつもりだ。特に植物は、手をかけただけ成果が出るし、もの申さない植物の気持ちや環境をみて、世話をしなくてはならない。

世話をしたことがそのまま返ってくる。手を抜くとあっという間に雑草が勢力を伸ばし、良い成果が出ない。素直なものだ。

今年は枝豆3本、ピーマン2本植えた。ピーマンの1本は苗のときから弱かったのか途中で枯れてしまった。また、枝豆は収穫したので、今はピーマン1本だけである。枝豆は良く実った。ピーマンは現在も実をたくさん作っている。

毎朝水をやり、休日は雑草を取り、たまに肥料をやり、世話をした分だけ成果が出る。子育てや教育に通ずるものがある。



さて、我が家では10年来カメを飼っている。名前はカメQである。

子供が小学生の頃、近所のおじさんがくれたものだが、今でも元気で、今では我々夫婦が世話をしている。カメは強いので環境が悪くても生き延びそうだが、2~3日毎に水を替え、散歩させている。

1000年生きるのも、あと30年くらい世話ができるか・・・！？

カメQはもの申さぬが、我々人間はカメの気持ちをくみ取り、世話をしたいと日々考えている。

学校では、支援が必要な生徒との生活があった。今思えばもっと支援ができていたと思っているが、すでにやり直しはできない。

今後、植物や動物を育てた経験を良い教育へ向けて少しでも活かしていけたらと考えている。

